

質問作成特別講座 in 大阪 報告書

2024 年 2 月 1 日

講師 木村亮太 元枚方市議会議員

大阪府枚方市出身の前枚方市議会議員（無所属）。未来を責任に持った政治を掲げ、行財政改革、人事給与制度改革、教育子育ての充実、持続可能な社会保障制度の構築のために予防医療・介護予防、また、ICTを活用したまちづくり、行政のデジタル化（DX）、オープンデータやSIB/PFSなども含め公民連携（PPP）を提言している。1984年生まれ。大阪大学経済学部を卒業し、ベンチャー企業に入社し、その後2011年枚方市議会議員選挙に立候補し当選。2023年4月末で任期満了。現在は民間の立場から社会課題解決に取り組んでいる。

1. 当選して出来る限り早い時期にすべきこと

選挙公約の内容を具体的に掘り下げて、議会で取り上げる

※後追いが大切 ※関連行政計画を確認。他市の事例を調べる。国の動向

2. 議会発言とは ～議会発言の意義と効果～

- ・ 議案質疑 市が出してきた条例案や、予算案に対して、疑問の点を問います。

※議案の範囲内での質疑を心がける

- ・ 一般質問 幅広く、市に対しての政策提案やチェック

①選挙で掲げていた公約 ②関心のある内容 ③市民相談などを受けた内容

3. 一般質問をするかしないかの視点

- ・ 社会情勢の変化により必要と判断
- ・ 形に残す事に意味がある。議事録、議会報、ビラ、ブログ オープンのやり取り
- ・ なぜ取り上げたか、を聞かれた時に答えられるものが良い
- ・ 質問以外にも改善できる。クローズのやり取り

日々の打ち合わせ、申し入れ、で済むことは、質問しない。